

# のり養殖通報第10報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成30年1月16日発行

## [気象]今週の気温はやや高め

- 気温は12月末以降低め傾向が続き、南寄りの強風が吹いた1月9～11日、15日を除いて平年を下回る値で経過している(図1)。
- 気象予報では、今週は一旦寒さが緩み気温は平年を上回る日が続くと予想されている。

## [海況]水温は前年より低め、栄養塩は湾奥部でやや減少

- 1月12～13日の観測では、表層水温は内湾が8～11℃台、内房は11～12℃台で前年同時期(1月6日観測結果)と比較すると内湾では1～2℃、内房では2～3℃程度低い値となっている。湾奥部では植物プランクトンがやや増加し(優占種はキートケロスなどの小型の珪藻)透明度が低下しており、船橋ではリンの値が色調低下が心配されるレベルまで減少した。その他の調査点の栄養塩は良質のノリの生産に必要な量が十分に含まれている(表1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では12月下旬に14℃前後で経過していた水温は、1月中旬には12℃前後に低下し前年より1～2℃低い値で推移している。

## [今後の留意点] 良い場所を有効に

- 湾奥部では栄養塩減少が長期化すると色調低下が生じる可能性があります。今後の植物プランクトン増減の動向に注意してください。
- 富津岬以南では依然伸長が不安定な場所があり県全体の生産枚数は上向いていませんが、内湾ではノリ芽の短縮化が治まり生育が好転した場所が増えてきました。魚類の食害は、さらなる水温低下によって徐々に少なくなっていく見込みです。しばらくは岸よりの水温が低い漁場などを有効に活用し、食害防止対策を施しながら状況好転を待ってください。

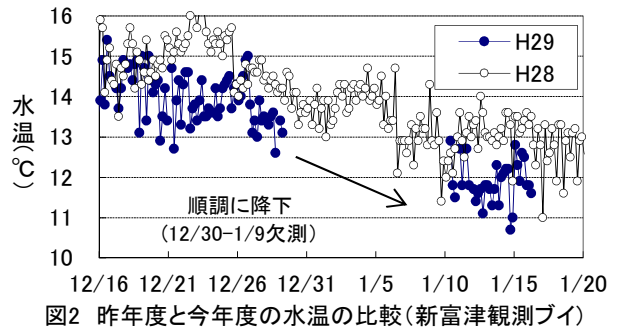
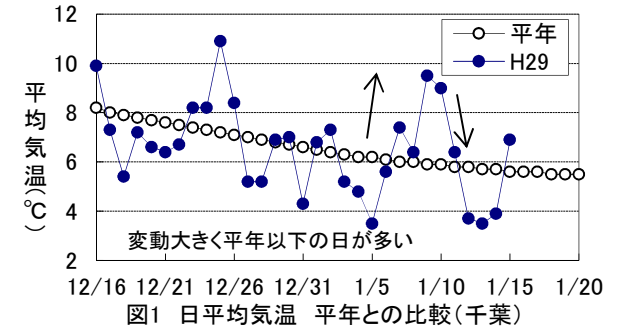


表1 水質観測結果(内湾 1/12, 内房 1/13)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	8.7	30.7	8.6	1.3	402	2
盤洲Cブイ	9.9	31.8	8.5	4.3	336	15
盤洲Bブイ	10.9	32.3	8.5	5.7	347	13
盤洲Aブイ	10.6	32.0	8.5	5.5	359	14
富津ベタ	11.1	32.5	8.4	7.0	372	19
2海ほ下	11.6	33.0	8.4	4.5	263	18
大貫沖	12.5	33.3	8.4	6.5	199	14
湊沖	11.9	33.3	8.5	5.8	174	12

\*溶存無機態窒素 (μg/l)、\*\*リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。次回は1月24日頃発行します。